

Taurus

ポーランドから上陸した フロア・タイプのアンプ・ヘッド

ここ数年、さまざまなメーカーから小型のアンプ・ヘッドが発表されているが、ポーランドのタウラスからフット・タイプのアンプが3機種上陸した。今回はその3モデルの中から、出力60wのStompHead 3 BLをチェックしてみた!

タウラス

StompHead 3 BL

¥68,250



高級
指向

オール
ラウンド

シンプル

音質
重視

ペダル・ボードに出力試奏! 60wの2チャンネルのアンプ・ヘッドを組み込んだStomp Head 3 BL。トランジスタ・アンプではあるが、シミュレート回路を搭載し、真空管のようなウォームなサウンドが基本のアンプだ。

まず、クリーン・チャンネルを鳴らしてみましたが、トランジスタながら透き通った感じではなく、どこかウォームさを持ち合わせた音が特徴で、このあたりにも真空管をシミュレーションした回路の効果が表われているようだ。また、クリーン・チャンネルに備わっているクラunch・スイッチをオンにすると、歯切れのいいサウンドが得られた。これは、3つ目のチャンネルとして

三大オススメ
ポイントは!

- 真空管シミュレーション回路を搭載
- クリーン・チャンネルではクラunchもOK
- 機動力も操作性も高い

〈仕様〉 ●出力:60w ●コントロール:クリーン・チャンネル=クラunch、ベース、ミドル、トレブル、ヴォリューム リード・チャンネル=ドライヴ、ベース、ミドル、トレブル、ヴォリューム マスター=ブースト、マスター クラunch・スイッチ、チャンネル切り替えスイッチ、ブースト・スイッチ リア・パネル=スタジオ/ステージ切り替えスイッチ、出力切り替えスイッチ、インピーダンス切り替えスイッチ ●入出力端子: インプット、エフェクト・ループ、ライン・アウト、スピーカー・アウト ●外形寸法:385(幅)×70(高さ)×190(奥行き)mm ●重量:2.4Kg

■問い合わせ:日本エレクトロ・ハーモニクス(株) (<http://www.electroharmonix.co.jp>)



↑クリーン・チャンネルに搭載されたクラunch・スイッチ。オンにすると、歯切れのいいトーンが得られる

活用できるだろう。また、リード・チャンネルも、同じように温かみと深みのある歪みが持ち味だ。ドライヴ・ツマミはフルにしても暴れることなく扱いやすく、ベースとミドル、トレブルを調整することで、エッジの効いた歪みや重低音の効いた歪みなど多彩な音作りが行なえた。マスター部に、ギター・ソロなどで活用できるブースト・スイッチが付いているのもポイントだろう。

マルチ・エフェクター・サイズで、本格的なアンプ・ヘッドと同等なサウンドが実現できる本機は、置き場所や持ち運びやすいという点でも便利。さらにライブでの操作性にも優れたアイテムであると言えるだろう。なお、兄弟機種として出力70wでハイブリッド・アンプのStomp Head 4SL(¥102,900)と出力50wのトランジスタ・アンプのStompHead 1 BL(¥52,500)も発売されている。